

景気悪化の新年ですが、この一年皆で協力し合って進みましょう

社会福祉法人安芸の郷 理事長 遊川 和良



正月明けの初仕事は、休日を利用して豊栄町の折羽農園で枯れたブルーベリーの植替えて、先に根元を掘り起こし土作りを行う。おおよそ一月位あとからブルーベリーの苗木の植付けを行う。土を掘り起こすと、蛙が出てきた。冬眠中でぴくりとも動かない。掘り起こした時に仰向けになった姿の蛙は腹だけが大きく見えなんとも可笑しい。そっとスコップに乗せて他のブルーベリーの木の下に埋め戻してやる。その間もぴくりとも動かない。暖かい土の中で蛙はひたすら春を待つ。待つといても眠って時を待つ。

昨年の秋からアメリカの金融危機をきっかけに景気が急速に悪くなり、日本の自動車メーカーを中心に派遣労働者の人たちが契約打ち切りをされて、派遣会社の用意した住宅からも追い出され、住宅を失い公園などで寝ざるを得ない状況が出てきた。昨年の年末年始で、東京の日比谷公園にも500人を超える失業者が集まり、労働組合やボランティアの1500人を超える人たちの支援で炊き出し、テント設置、就職相談や、面接に必要な写真も買う金のない人達のために撮影、プリント器具一式を用意したところもあった。テントが不足して、急遽日比谷公園の目の前の厚生労働省のホールの一時的解放が行われ死者が出かねない状況がかりうじて避けられた。地震など自然災害などで行われてきた被害者支援の取り組みが、仕事を失い住む家も失い、お金もない労働者に支援の手が差し伸べられた戦後日本の初めての取り組みとして記憶されることだろう。いきなりの解雇は、生命の危機をもたらすことが改めてわかったと思う。人が仕事を失うことは、蛙のように冬眠で春を待てばいいという訳にはいかない。

森の工房AMAでも景気の急速な落ち込みの波が押し寄せている。森の工房みみずくの仕事のアル缶回収では昨年夏の北京オリンピック終了後1キロ150円から10月には140円、10月末には一気に85円に下がり、1月9日最初の納品ではとうとう1キロ50円に下がった。新聞紙、ダンボールは1キロ当たり14円から10円に同じように下がっている。森の工房あやめでは、請負作業の自動車部品の組立の仕事が1月末を持って終了することが告げられた。発注先にいる労働者にこの仕事を移転して急場をしのぐとのことで、森の工房あやめの作業所時代から続いてきたこの仕事も景気変動の波に飲み込まれた。森の工房あやめ以外にも受注している施設、作業所が複数あり中には作業全体の7~8割を占めているところもある。森の工房あやめは授産作業全体の3割位だが、影響は大きい。新しい分野への挑戦として、森の工房あやめでは、昨年4月から農地をお借りしてサツマイモの生産を手始めに、ブルーベリー栽培などの農産物生産をするために、みんなで智恵と汗を絞り自前の仕事と収入確保に励んでいる。

いまの社会は無原則的な生産競争、販売競争をするしかない資本主義のシステムだが、世界の人口には限りがあるからいくらものを作っても、限界がある。しかし誰にも予測はつかない。この社会は最大の弊害が景気の変動が絶えず起きること、世界同時恐慌の危機を常に抱えている。冬眠している蛙から今の人間世界のありようを「なんとまあ」と笑われてしまいうだ。

森の工房AMAも景気の悪い今の状況は、作業のありようを変えていく外からの力が強く働いている。それは、みんなの気持ちを合わせやすい時期でもあるので、ここは智恵を出し合い新たな景気変動に大きく左右されない授産作業、施設運営をあせらず、あきらめずすすめたいと思う。同時にご家族、関係者の皆さんや、ご支援いただいている皆さんに授産製品の購入や販路開拓の輪が広がるよう引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。変わり目の年となりそうな今年の干支は牛。牛歩はゆっくりした歩みだが、一歩一歩確かに歩む。牛にちなんで踏ん張っていきましょう。

初詣に行ってきました

あやめ

1月5日(月)の仕事始めに森の工房あやめの利用者・職員一同で矢野の尾崎神社に初詣に行ってきました。寒い一日でしたが幸い風はなく、お正月休みにあった事などを話しながら皆ゆったりとしたペースで片道約40分の道を歩きました。神社ではそれぞれ真剣な顔で今年一年の願い事をして帰りました。今年一年良い年でありますように！



片道40分。最後は階段を登ってやっと到着！



今年の願い事は...?

今年もよろしくお



成人おめでとう!

昭和63年64年平成元年生まれ



あやめ、みみずくのメンバー7名が成人になりました。入所してから2年目になりますが、ずいぶん大人になりました。すっかりたくましくなり、これからの森の工房AMAを支えていく大きな力となります。

写真左上から増田さん 松崎さん 山之内さん 黒田さん 下左から開前さん 高橋さん 樽本さん

初詣

みみずく

食品班1月5日午後
パッキン班1月6日午後

1月5日は仕事初め。各作業班ごとに今年の目標を決めて発表しあったり、近くの神社へ初詣に出かけたり。「今年も元気に楽しく働く事ができますように。そしてブルーベリーがたくさん実り、給料が増えますように。」と祈願しました。



尾崎神社(食品班)



岩滝神社(パッキン班)

冬のブルーベリー「屋上」

施設の屋上のブルーベリーは静かに春をまっています。乾燥ブルーベリーにも挑戦中で、皆さんのお手元に届くのも後わずかです。



写真左・乾燥ブルーベリー
右・屋上の様子



三迫農園だより あやめ

平成21年がスタートしました。あけましておめでとうございます。寒風吹く中、利用者と共に農園に出向き春に向けての準備を毎日行っています。鍬で畑を耕やし、根を取り出し、枯葉や籾殻をまぜ良い土壌作りに精を出しています。それと新たに、スナップエンドウの苗作りをこまくさで行っています。

良い苗を作って多く収穫ができればいいと思います。

写真・スナップエンドウの苗



独り言



新年を海外や温泉で迎える人が多く、空港や駅がごったがえす場面をニュースでよくみるが今年は不景気が影響してか例年より少なく感じた。私のお正月は年末から大掃除、墓掃除、餅つき、おせち作りと忙しく、31日の夕方にしめ縄を玄関に飾り、紅白歌合戦を見て、除夜の鐘を聞きながら年越しそばをいただく。新年を迎えるとそれぞれに「おめでとうございます」と挨拶をして、お年玉を配る。同じ事が約30年続いている。海外でカウントダウンを夢みていたこともあったが、今となれば、兄弟や子供達が帰ってくる場所を守り、迎える事の喜びを感じている。姑から受け継いだ「家」を子供達につなげる事。それは物だけではなく心、文化、価値観も同様だと考える。子供達が将来どんな正月を過ごすのかはわからないが、次の世代に伝えられるように日々ていねいに暮らしたい。

あやめ家族会より

今回の家族会は平成21年3月11日(水)13:30からです。多数の参加をお待ちしております。

みみずく家族会より

今回の家族会は平成21年3月13日(金)10:00からです。多数の参加をお待ちしております。

森の工房

みみずく
あやめ

月間予定表

2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
				クラブ	前岡Dr 来所	
8	9	10	11	12	13	14
	クラブ		建国記念日			
15	16	17	18	19	20	21
			自治会	職員会議	あやめ 自治会行事	
			自治会			
22	23	24	25	26	27	28
	クラブ				みみずく 自治会行事	

給食委員会より



新しい年をだし、給食委員一同気持ちを引き締め、「安心・安全」をスローガンに森の工房AMAの給食を提供していきたいとおもいます。いつも利用者の皆さんが笑顔で給食をいただけるように、またそれが健康につながるように願っています。1月は成人のお祝いに「手巻き寿司」をしました。

・・・今月寄せられた善意・・・

広島安芸地区更生保護女性会議……金一封
大切にに使わせていただきます。

・・・編集委員より・・・

冷え込む毎日で朝がつらく、なかなかお布団からでることができない私ですがAMAの皆さんはとっても元気で、昼休みは中庭に出てぐるりを歩く人、サッカーをする人でにぎわっています。



ちょっと早いお知らせ

春のブルーベリーフェア3月14日(土)10:00~13:30

0

内容・草木染め、ブルーベリー相談会、カフェなど

みみずく

あやめ

両施設

毎月曜日

作業療法士

1, 2, 4, 木曜

相談員来所